

令和 6 年度 第 3 回 高槻市社会福祉審議会 高齢者福祉専門分科会

高槻市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

令和 6 年度上半期 進捗状況

## 目次

### 施策の展開（第5章）・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1～P 22

- I 自立支援、介護予防・重度化防止の推進・・・・・・・・ P 1～P 6
- II 安心できる暮らしの支援・・・・・・・・ P 7～P 9
- III 認知症施策の推進・・・・・・・・ P 10～P 12
- IV 権利擁護と意思決定支援・・・・・・・・ P 13～P 15
- V 医療と介護の連携推進・・・・・・・・ P 16
- VI 高齢者の生活を支える人への支援・・・・・・・・ P 17～P 19
- VII 介護サービス等の充実・強化・・・・・・・・ P 20～P 22

### 介護保険・地域支援事業のサービス量の見込み（第6章）

・・・・・・・・・・・・・・・・ P 23～P 34

### 参考資料・・・・・・・・ P 35～P 38

参考資料1 （高齢者等の人口）

参考資料2 （計画の事業実績【第7章関係等】）

参考資料3 （介護保険特別会計）

# 高槻市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

## 令和6年度上半期 進捗状況

### 第5章 施策の展開 (計画書 P.38～P.63)

#### I 自立支援、介護予防・重度化防止の推進

.....(計画書 39 ページ)

#### 1 介護予防・日常生活支援総合事業の充実

##### (1)一般介護予防事業

各種介護予防事業の実施にあたっては、地域包括支援センターや医療機関、地区福祉委員会などの関係機関と連携して地域の実情把握に努めるとともに、必要な介護予防の取組や継続実践への意識づけを図るため、健康相談や出前講座等の機会に基本チェックリストを実施しました。実施結果や地域活動で得た情報、庁内関係部署との連携等により、何らかの支援を必要とする高齢者を把握し、個別相談や地域資源の紹介などを通じて介護予防の取組につなげています。

	令和6年度 上半期	令和5年度
基本チェックリスト実施件数(実)	1,356人	2,596人

##### ① 介護予防普及啓発事業

介護予防に資する活動を普及啓発し推進していくため、高齢者の多様な生活背景を考慮し、様々な方法で事業や取組を実施しました。高齢者が主体的かつ自発的に介護予防活動に取り組めるよう、「高槻ますます元気体操」と「高槻もてもて筋力アップ体操」(以下、「もてきん体操」)のインターネット動画やDVD等の教材を併用し、それぞれの体操の特長を生かした積極的な周知啓発を行いました。また、介護予防の取組の3つのポイント(「運動・栄養/口腔・社会参加」)の要点を押さえたパンフレットや広報媒体を活用し、フレイル予防啓発を進めています。令和6年度上半期は、引き続き、市営バス広告や市広報番組「みんなで“もてきん体操”」等により、「もてきん体操」のPRを通じて、フレイル予防啓発を強化しました。

また、「高槻ますます元気体操」と「もてきん体操」の効果と楽しさを広く市民に普及啓発するボランティアである「介護予防マイスター」(以下、マイスター)を新たに養成し、計16名のマイスターが体操サロンの定期開催や通いの場での体操指導を行うなど、体操の普及啓発活動を行いました。

各種介護予防教室については、地域包括支援センターと開催場所を分担し、すこやかテラスや駅前周辺の施設、公民館等の市内各所で実施しました。

また、習慣的に体操に取り組む機会を維持するため、オンライン介護予防教室を27回開催しました。オンライン教室の更なる利用を推進するため、すこやかテラスや介護保険施設等をサテライト会場とし、介護予防教室では参加支援を行いました。

また、すこやかテラスや地区福祉委員会等と共催で実施している「ますます元気クラブ」において、保健師・看護師等による介護予防や健康に関する相談会を、161回開催しました。

介護予防の普及啓発を目的としたイベント「すこやかフェスタ 2024」では、健康づくりや介護予防の取組への関心を高め、介護予防事業への参加勧奨の機会とするため、民間事業者等と連携し、「体力測定会」や「もてきん体操体験会」を実施しました。

			令和6年度上半期	令和5年度
介護予防 普及啓発事業	講演会・介護予防 教室等	開催回数	694回	1,205回
		参加者数	21,796人	34,984人
	相談会等	開催回数	161回	315回
		参加者数	483人	863人
	イベント等	開催回数	1回	3回

#### ○介護予防教室(すこやかエイジング講座)

介護予防や健康づくりに対する個人の関心の高さやライフスタイルに合わせて参加できるように、「すこやかエイジング講座」を初級・中級・上級に分類して開催しました。

初級は気軽に参加できる一回体験型、中級は行動変容を目指した短期集中型、上級はテーマ別にさらに詳しく学び、介護予防の効果を仲間に伝えられる程度の知識の習得を目指した教室として実施しています。また、新しい参加者を獲得するため、番外編のテーマ(カラーセラピー等)を設定し、フレイル予防啓発を行っています。

令和6年度上半期の介護予防教室(すこやかエイジング講座)は、すこやかテラスや市役所等で65回実施しました。

		令和6年度上半期	令和5年度
初級	実施箇所数	6か所	6か所
	実施回数	36回	68回
	参加者数	255人	401人
中級	実施教室数	6教室	9教室
	実施回数	22回	45回
	参加者数	330人	422人
上級	実施回数	6回	10回
	参加者数	80人	141人
番外編	実施回数	1回	7回
	参加者数	14人	94人
合計	実施回数	65回	130回
	参加者数	679人	1,058人

○介護予防活動通所型事業(街かどデイハウス)

市内 7 か所の街かどデイハウスにおいて、「高槻ますます元気体操」を中心とする介護予防プログラムを実施しました。

	令和 6 年度 上半期	令和 5 年度
実施回数	732 回	1,465 回
参加者数	6,321 人	12,525 人

○高齢者の健康づくり事業(高槻市ますます元気！健幸ポイント)

市内在住の高齢者が、介護予防や健康増進に主体的に取り組むことにより、健康意識を高め、生涯を通じた健康づくりと総合的な介護予防の推進を図ることを目的として実施しています。

		令和 6 年度 上半期	令和 5 年度
健幸パスポート発行者数		6,177 人	5,934 人
ポイント達成者数	記念品交換	669 人	2,721 人
	寄付	36 人	280 人

※令和 3 年度より記念品交換と寄付の両方を選択できるコースを新設

○介護予防普及啓発強化事業(介護予防啓発冊子「65 歳からの羅針盤」送付)

介護予防事業の更なる普及啓発と参加者の増加を目的として、毎月 65 歳を迎える方全員に、健康寿命の延伸のためのポイントと高齢早期から介護予防に取り組む効果を簡潔にまとめた冊子を送付しています。令和 6 年度上半期は 1,716 人に送付しました。また、担い手募集の情報(ファミリーサポートセンター会員募集)や市の事業に関する情報を同封し、高齢者の社会参加の機会拡大に努めています。

② 地域介護予防活動支援事業

高齢者グループが「高槻ますます元気体操」や「もてきん体操」を始めるにあたり、主体的かつ効果的に体操を行い、グループとしての活動が継続できるように、自主グループの立ち上げを支援しました。

令和 6 年度上半期は、自治会やシニアクラブの活動に体操を取り入れたい、介護保険施設のレクリエーションとして体操をしたいなどの声があり、体操実施拠点の立ち上げを目的とした出前講座を 20 回開催し、参加人数は 262 人でした。

また、グループの活動を維持・推進していくため、おおむね半期ごとに、各種相談対応や健康教育等の支援を行うとともに、熱中症予防や特殊詐欺被害防止などの情報発信に取り組みました。「高槻ますます元気体操」と「もてきん体操」を定期的かつ継続的に実施するグループや拠点数は、令和 6 年 9 月末時点で 282 か所でした。

			令和6年度 上半期	令和5年度
地域介護予防 活動支援事業	ボランティア育成 のための研修会	実施回数	1回	7回
		参加者数	40人	231人
	地域活動組織への 支援協力	実施回数	486回	981回
		参加者数	8,551人	17,569人
	うち教材貸出 関係	実施回数	20回	25回
		参加者数	262人	412人

#### 高槻ますます元気体操実施箇所数（令和6年9月末時点）

ますます 元気クラブ	自主グループ	施設関係	街かどデイハウス	すこやかテラス (老人福祉センター)等	合計
29か所	193か所	26か所	7か所	27か所	282か所

また、社会参加活動を通じた介護予防を推進する取組として、介護保険サービス等では対応できない多様な生活支援ニーズに対応するために、生活支援サポーターによる通院介助や家事援助等の支援を延べ162回行いました。

### ③ 地域リハビリテーション活動支援事業

地域における介護予防の取組を強化するために、住民主体の通いの場や地域ケア会議等に、リハビリテーションに関する専門的知見を有する者が関わることで、地域での自立支援に資する取組を総合的に支援しました。

#### (2) 介護予防・生活支援サービス事業

介護予防・生活支援サービス事業においては、高齢者が自立した日常生活を営むことができるよう支援を行い、利用者の生活機能の維持・向上を目指して実施しました（利用状況等についてはP29、P33）。

緩和した基準による訪問型・通所型サービスの担い手養成のための研修会については、令和6年度下半期に開催予定です。また、事業対象者（要支援に相当する状態等で、25項目の基本チェックリストの基準に該当した方）について、令和6年度上半期は12名が手続きを行いました。

## 2 高齢者の生活習慣病予防とフレイル予防の推進

生活習慣病予防とともにフレイル予防の取組を推進し、市民一人ひとりの主体的な健康づくりに向けて、広報誌やホームページ、「健康だより」をはじめとするパンフレット・チラシの配布等による周知を行いました。

生活習慣病予防については、特定健診・特定保健指導、各種がん検診（自己負担無料）等の受診勧奨を行い、受診率向上に取り組みました。また、本市の健康課題である高血圧対策としての取組「はにたん適塩プロジェクト」、出前講座、健康相談会等の機会を活用した健康に関する知識の普及・啓発など、市民の健康意識の向上に取り組みました。

フレイル予防については、介護予防教室や通いの場における健康教育等の機会を活用し、生活習慣病予防とあわせて、正しい知識の普及・啓発を実施しました。社会参加を通じた健康づくりを推進するために、健幸ポイント事業への参加勧奨や低栄養予防のための「もてたんレシピ」の普及啓発を強化しています。

## 3 高齢者の生きがい活動と社会参加への支援

### (1) 団体・グループの活動支援

シルバー人材センターへの運営支援や老人クラブへの活動支援を通じて、高齢者の社会参加の促進、就労機会の拡大や、生きがいづくり、スポーツ活動の活性化を支援しました（P36の参考資料2の「その他の事業」の項目を参照）。

#### シルバー人材センター

	令和6年度	令和5年度
	上半期実績	実績
契約金額	218,975千円	432,738千円
会員数	1,123人	1,049人

#### 老人クラブ

	令和6年度	令和5年度
	上半期実績	実績
老人クラブ数	152	161
老人クラブ会員数	8,887人	9,436人

### (2) 活動の場の支援

すこやかテラス（老人福祉センター）については、高齢者のICT推進や介護予防に取り組んでいます。

令和6年度上半期は、スマートフォン未所有者等を対象にした携帯電話会社によるスマートフォン講座を27回開催し、281人が受講しました。また、施設職員によるスマートフォン初心者向け講座を30回開催し、253人が受講しました。引き続き、館内でのタブレット端末貸出など、高齢者のICT推進に取り組んでいます。

その他、民間企業による生前整理やエンディングノートなどをテーマとした終活講座や、消費生活センターによる特殊詐欺被害防止の啓発、地域医療支援病院と連携した健康講座、近隣の小中学校との多世代交流企画などの取組を実施しました。

#### すこやかテラス（老人福祉センター）

	令和6年度		令和5年度	
	上半期	1日平均	年間	1日平均
富田すこやかテラス	7,412人	50人	14,483人	50人
郡家すこやかテラス	18,247人	122人	32,064人	110人
春日すこやかテラス	13,239人	89人	23,058人	80人
山手すこやかテラス	8,858人	60人	16,557人	57人
芝生すこやかテラス	14,393人	98人	28,283人	98人

「通いの場」の取組に対する支援としては、地域の「高槻ますます元気体操」や「もてきん体操」の自主グループの活動支援や介護予防マイスター主催の教室・サロンの運営支援を行うことにより、高齢者の社会参加を促進しました。また、生活支援コーディネーターが地域の通いの場に訪問し、把握した情報の発信や運営に関する相談に随時応じています。

.....(計画書 42 ページ)

## 4 地域包括支援センターの機能強化

地域包括支援センターごとに策定した事業計画や市が示した運営指針に基づき、地域の高齢者の心身の健康の維持及び生活の安定のために必要な援助を行いました。また、地域包括支援センターが円滑に高齢者の支援等が行えるように後方支援や総合調整を行いました。

高槻北、五領・上牧地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を引き続き配置し、他の地域包括支援センターと連携を図りながら認知症に関する正しい知識の普及や関係者の連携強化を行いました。

地域ケア会議等で地域の課題を共有するなど、市と地域包括支援センターとの連携を強化し、高齢者のニーズに適した医療・介護・福祉サービスが調整できるよう支援を行いました。

.....(計画書 43 ページ)

## 5 ケアマネジメントの向上と地域包括支援ネットワークの充実

各地域包括支援センターが主催する圏域ケア会議を16回実施し、地域における関係者間の情報共有や地域課題を抽出し、地域課題の解決に向けた検討、地域包括ケアシステムの構築に向けた検討を行いました。

また、多職種協働で11回の個別ケース検討会議を行い、課題の背景にある要因を探り自立支援に資するケアマネジメントを支援しました。同時に地域課題の抽出も行き、対応する社会資源の創出や活用に向けて、生活支援コーディネーターとともに検討を進めました。

## Ⅱ 安心できる暮らしの支援

.....(計画書 44 ページ)

### 1 多様な生活支援サービスと生活支援体制の充実

在宅で生活する高齢者を支援するため、緊急に支援が必要な時に迅速に対応するための緊急通報装置及び熱感知センサーの設置、調理困難者の栄養改善及び安否を確認する配食サービスなど、各種支援サービスを提供しました（P36・P37の参考資料2の「その他の事業」及び「その他高齢者福祉」の項目を参照）。

また、ICT ツールを活用した生活支援のニーズが高まっていることから、ICT ツールの利用促進に向けた取組や生活支援サービスに関する情報をデータベース上に一元管理するなど、生活支援コーディネーターと連携した取組を展開しています。

施策の名称	令和6年度	令和5年度
	上半期実績	実績
緊急通報装置の設置	1,547 台	1,524 台
熱感知センサー	826 台	817 台

施策の名称	令和6年度	令和5年度
	上半期実績	実績
配食サービス事業	55,758 食	102,659 食

施策の名称	令和6年度	令和5年度
	上半期実績	実績
救急医療情報キット配付	10,729 個	10,690 個

.....(計画書 45 ページ)

### 2 安心して暮らせるための施設や住環境の整備

#### (1) 高齢者の居住の安定の確保

シルバーハウジング（府営高槻城東住宅1か所）において、生活援助員により、安否確認、生活相談を実施しました。

## (2)高齢者が安心して暮らせる住環境づくり

### ①養護老人ホーム

環境上の理由及び経済的な理由により居宅での生活が困難な方に対して措置による施設入所を行いました。

	令和6年度	令和5年度	備考
	上半期実績	実績	
養護老人ホーム入所	32人	35人	高槻市措置人数 2施設へ措置
入所者数	4人	8人	
退所者数	7人	10人	

### ②軽費老人ホーム（ケアハウス）

	令和6年度	令和5年度	備考
	上半期実績	実績	
軽費老人ホーム入所	376人	362人	10施設 (定員:390人)
入所者数	80人	111人	
退所者数	66人	115人	

### ③有料老人ホーム

	施設数	うち特定施設入居者生活介護 の指定を受けた施設数
有料老人ホーム	27施設	8施設

### ④サービス付き高齢者向け住宅

	施設数	うち特定施設入居者生活介護 の指定を受けた施設数
サービス付き高齢者 向け住宅	16施設	2施設

.....(計画書 46 ページ)

## 3 生活困窮状態にある高齢者の支援

生活困窮状態にある高齢者について、地域包括支援センターや介護サービス事業所等が、自立相談支援機関をはじめとする各支援機関と連携し、生活の安定に向け支援しています。

## 4 終活支援に関する取組

高齢化の進展とともに、ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、認知症高齢者等が増加していく中で、高齢期の早い段階からの、人生の最期に向けた事前準備開始を支援するために、介護予防教室やすこやかテラスでの講座等で終活に関する情報発信や勉強会を開催しました。また、介護予防啓発冊子「65歳からの羅針盤」で人生会議について紹介するなど、終活への関心を持つ機会づくりに努めています。

## 5 災害時に備えた連携強化

### (1)災害に備えた高齢者に対する支援体制の整備

災害発生時に、高齢者等に対して必要なサービスを継続的に提供できるよう、社会福祉施設等との連携を図りました。具体的には、災害対応力の向上を目指した地域包括支援センターによる資源把握とネットワーク構築、介護保険事業者協議会によるBCP作成に向けた取組など災害対策の取組を支援しました。

また、災害時要援護者の安否確認、避難誘導等の支援を地域で円滑に行えるよう、地域で要援護者の支援に携わる民生委員児童委員、地区福祉委員会、地区コミュニティに対する要援護者情報の提供を進めるとともに、地域での取組みを支援するなど、災害時の高齢者支援体制の充実に向けて取組みました。

### (2)災害時の自助・共助の推進

防災情報について、市ホームページによる情報発信に加え、市公式 LINE アカウント等 SNS を活用した情報発信を行っています。介護予防教室や通いの場での健康教育では、災害時の口腔ケアなど防災に関する情報発信を始めました。地域においては、地域包括支援センターの圏域ネットワークを活用して、圏域ケア会議などで、災害時の備えに関する情報を収集し意見交換する機会を設け、防災手帳を作成するなど、引き続き住民組織や関係機関等とともに災害時の取組を検討しました。また、介護保険事業者協議会の季刊誌にて発信している防災情報の周知啓発に協力しています。

### Ⅲ 認知症施策の推進

..... (計画書 48 ページ)

#### 1 認知症の理解促進に向けた普及啓発

高槻市医師会が開催する認知症対策委員会に参加し情報共有を行うとともに認知症高齢者に対する支援ツールとして認知症ケアパス（たかつきオレンジガイド）の周知に努めました。

##### (1)認知症サポーターの養成

認知症について正しく理解し、さりげなく認知症の方への手助けを行う応援者である認知症サポーターを増やすため、養成講座を開催しています。令和6年度上半期は市内大型スーパーに配属されたスタッフへの講座や、新型コロナにより行えなかった中学生への講座も開催し、累計で30,644人となりました。

施策の名称	累計	令和6年度	令和5年度
	実績	上半期実績	実績
認知症サポーター養成講座開催	—	24回	70回
	30,644人	1,519人	1,317人
キャラバン・メイト養成	355人	31人	6人

##### (2)たかつきオレンジガイド(認知症ケアパス)

令和6年1月に改訂した「たかつきオレンジガイド」の周知・啓発に努めました。新たに当事者の声を載せたことで、より身近なものになったと感想をいただいております。これからも支援が必要な方やその家族に対して積極的に活用していきます。

##### (3)認知症月間における取組

認知症月間に合わせて、認知症に対する知識を広く市民の方に周知・啓発するために庁内での展示ブースの設置やライトアップ等を実施しました。また認知症サポート医による認知症についての講座を開催しました。

認知症啓発イベントが認知症地域支援推進員により開催され、本市も企画・運営に携わりました。会場には市内大型スーパーのご厚意でイベントスペースをお借りすることができ、地域との連携も図ることができています。

..... (計画書 49 ページ)

#### 2 認知症への「備え」としての取組の充実

##### (1)地域における高齢者の「通いの場」の充実

運動の習慣化や生活習慣病の予防・改善、社会参加による社会的孤立の解消と社会的役割の保持は認知症の発症を遅らせることができる可能性に加えて、介護予防に取り組むポイントであることから、体操実施拠点の立ち上げに引き続き積極的に取り組みました。出前講座等では、生活習慣病予防と社会参加の重要性を伝え、公民館や住

民主体の「通いの場」等趣味活動、教養・学習の機会に関する情報や認知症予防に関する調査報告等について積極的に情報発信し、健康づくり活動を支援しました。

## (2) 予防に関するエビデンスの収集の推進

公衆衛生に関する文献資料や多様な団体の取組報告、研修会への参加等から認知症予防に資すると考えられるものの情報収集に努めています。

.....(計画書 49 ページ)

## 3 早期発見・早期対応に向けた医療・介護等の連携強化

### (1) 認知症初期集中支援チーム

看護師、精神保健福祉士等の専門職や認知症の専門医で構成する「認知症初期集中支援チーム」を新阿武山病院に設置しています。認知症高齢者の早期発見、早期支援については、認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員、地域包括支援センター等と協力しながら家族からの相談に応じ、訪問するなど対応を行いました。

### (2) 認知症地域支援推進員

高槻北、五領・上牧地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を1名ずつ配置しています。各地域包括支援センターで開催している地域ケア会議で、認知症に関する正しい知識を普及するとともに、認知症高齢者の実情についての情報交換を行い、関係機関とのネットワークの強化に努めました。

.....(計画書 50 ページ)

## 4 認知症の人と家族等が社会参加できる地域づくりの推進

### (1) チームオレンジの構築

認知症のことを正しく理解する認知症サポーターの養成と、実際にボランティア活動をするための認知症パートナー養成講座を実施しました。

認知症のご本人発信支援に力を入れ、当事者同士のミーティングである本人ミーティングを開催したり、ご本人が講座や研修などの企画・当日の講師の一人として登壇するなどを支援しています。ご本人も含めた、地域でのチームオレンジの構築の推進に努めています。

### (2) 若年性認知症施策の強化

認知症地域支援推進員を中心に、大阪府に配置されている若年性認知症コーディネーターとも連携し、当事者との交流を深め、ネットワークの強化を図ってまいります。

### (3) 安心声かけ運動の実施

下半期に安心声かけ運動を行うべく、2地域包括支援センターにおいて、企画を行っております。

#### (4)認知症の人と介護者への支援

##### ①行方不明高齢者家族支援サービス

認知症高齢者やその家族を支えるツールとして、令和6年9月末で59名の方に行方不明高齢者家族支援サービス（GPS端末の貸与）を行いました。

##### ②行方不明高齢者 SOS ネットワーク

認知症高齢者の行方がわからなくなる事案が発生した際は、行方不明高齢者 SOS ネットワークに参加する協力機関に、事前登録された情報を発信し、行方不明者の早期発見に向けた支援を行いました。

##### ③見守り安心ネットワークシール

認知症高齢者が行方不明となった際に、二次元コードを携帯電話等で読み込むことにより、メッセージと連絡先が表示され、迅速に身元判明につなげることが出来る「見守り安心ネットワークシール」を、SOS ネットワーク登録者に対し配布しました。SOS ネットワークへの登録と併せて、行方不明になった際の早期発見、安全確保に努めました。

## IV 権利擁護と意思決定支援

..... (計画書 52 ページ)

### 1 高齢者虐待防止対策の推進

#### (1) 啓発活動の取組

「高齢者虐待対応マニュアル」概要版を市ホームページに掲載することや、関係機関窓口で啓発パンフレットを配架することで、高齢者虐待の内容や通報先等の周知を図り、虐待防止について啓発しました。

#### (2) 早期発見・見守り体制強化への取組

地域ケア会議に出向き、介護関係者や民生委員児童委員等と地域の課題等について話し合うほか、ケアマネジャーらが抱える事例等について情報共有を行いながら、気になる高齢者については早めに相談するよう呼びかけました。

養護者による高齢者虐待 通報・相談件数（被虐待者数）	令和 6 年度 上半期	令和 5 年度
総件数	74 件(74 人)	185 件(178 人)
警察通報件数	25 件(25 人)	85 件(85 人)
市・包括等相談件数	49 件(49 人)	100 件(93 人)
うち、虐待と判断した件数	35 件(35 人)	115 件(115 人)

※重複あり

#### (3) 高齢者虐待への対応

相談・通報があった虐待事例について、支援方針会議で虐待の有無や緊急性、支援方針について検討を行いました。

〔虐待の種別〕	R6上半期	R5
身体的虐待	26 件	89 件
介護・世話の放棄、放任	0 件	3 件
心理的虐待	9 件	36 件
経済的虐待	2 件	2 件
性的虐待	0 件	1 件
※重複あり	計 37 件	計 131 件

〔被虐待者の性別〕	R6上半期	R5
男性	9 人	40 人
女性	26 人	75 人
	計 35 人	計 115 人

〔同居・別居の状況〕	R6上半期	R5
虐待者と同居	33 人	105 人
虐待者と別居	2 人	10 人
その他	0 人	0 人
	計 35 人	計 115 人

〔虐待者の続柄〕	R6上半期	R5
夫	7 人	34 人
妻	1 人	11 人
子（息子）	21 人	44 人
子（娘）	7 人	21 人
子の配偶者	0 人	3 人
兄弟姉妹	0 人	0 人
孫	0 人	2 人
その他	0 人	1 人
※重複あり	計 36 人	計 116 人

〔要介護認定状況〕	R6上半期	R5
認定なし	12 人	68 人
認定あり	23 人	47 人
	計 35 人	計 115 人

〔要介護認定区分〕	R6上半期	R5
要支援 1	3 人	4 人
要支援 2	2 人	5 人
要介護 1	4 人	9 人
要介護 2	5 人	13 人
要介護 3	5 人	7 人
要介護 4	3 人	6 人
要介護 5	1 人	3 人
	計 23 人	計 47 人

〔認知症の有無〕	R6上半期	R5
認知症なし	0 人	6 人
認知症あり	23 人	41 人
	計 23 人	計 47 人

〔認知症の区分〕	R6上半期	R5
生活自立度Ⅰ	7 人	6 人
生活自立度Ⅱ	7 人	20 人
生活自立度Ⅲ	7 人	8 人
生活自立度Ⅳ	1 人	5 人
生活自立度Ⅴ	0 人	2 人
自立度不明	1 人	0 人
	計 23 人	計 41 人

#### ○養介護施設従事者による虐待

養介護施設従事者による虐待について、虐待に該当すると判断した事案は 1 件でした。

#### (4)対応力向上の取組

虐待通報・相談があった全ての事例において、地域包括支援センターとともに評価会議を行い、支援方針の確認や地域課題の検討を行いました。

#### (5)施設等における身体拘束廃止に向けた取組

介護保険施設等の介護サービス事業者に対し、集団指導及び運営指導等の中で、「身体的拘束等の原則禁止」の項目の適正運用について、指導助言を継続的に行っています。

## 2 成年後見制度の利用促進に関する取組

### (1)地域連携ネットワークの構築に向けた取組

令和 6 年 4 月より中核機関を福祉相談支援課内に設置しました。広報たかつきやケーブルテレビなどを活用し、成年後見制度について啓発を行いました。権利擁護支援が必要な高齢者を地域の見守りの中で、関係機関との連携を図り、早期発見し、適切な支援に繋げました。

### (2)成年後見制度の利用促進に向けた取組

認知症などで判断能力の低下が顕著な、身寄りのない人や被虐待者について、その権利を守るため成年後見制度の市長申立を行うとともに、成年後見を申し立てる親族への支援を行い、高齢者の権利擁護を図りました。大阪府内の 22 の市町と協力しながら、市民後見人の養成に取り組んでいます。市民後見活動が円滑に行われるよう、専門相談へのつなぎや日常相談を行いました。

また、判断能力に低下は見られるものの、契約能力のある人に関しては、金銭管理や福祉サービスの利用援助を行う日常生活自立支援事業の周知を行い、社会福祉協議会と連携を図りながら自立した生活をおくることができるよう支援を行いました。

施策の名称	令和 6 年度	令和 5 年度	備考
	上半期実績	実績	
成年後見制度利用支援事業	10 件	18 件	市長申立 件数

施策の名称	令和 6 年度	令和 5 年度	備考
	上半期実績	実績	
市民後見人の養成	19 人	20 人	バンク 登録者数
うち受任者	1 人	1 人	

施策の名称	令和 6 年度	令和 5 年度	備考
	上半期実績	実績	
日常生活自立支援事業	87 人	89 人	利用者数

## 3 地域で生活する高齢者の意思決定に関する支援

高齢期は、医療やケアが必要な状況等の重要な決定を下さなければならない局面を迎える機会が増え、認知機能の低下等により本人の意思決定が困難になっていく場合が想定されるため、地域包括支援センター主催の個別ケース検討会議や圏域ケア会議等で、多職種協働による意思決定支援やケアマネジメントについて、学びを深める機会を持っています。令和 6 年度上半期は認知症の本人を講師の一人として、意思決定支援についての講座を開催しました。

## V 医療と介護の連携推進

.....(計画書 55 ページ)

### 1 医療と介護の連携強化

医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターを配置し、「在宅医療・介護連携に関する相談窓口」の設置・運営を行いました。

また、地域包括支援センター主催による個別ケース検討会議において、多職種協働による検討や、医療と介護の連携に関する具体的な意見交換を行うなど、各職能団体と連携体制の充実に向けた取組を行いました。

さらに、市内の医療・介護関係機関の連携強化を目的として、各機関の在宅医療・介護連携の推進に関する取組内容を取りまとめ、令和6年度下半期に共有する予定です。

.....(計画書 55 ページ)

### 2 在宅医療の推進

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう日ごろの健康状態を把握し、何でも相談できる「かかりつけ」を医科、歯科、薬局とも持つことの重要性などを、関係機関と連携し、各啓発媒体を活用した啓発を行っています。また、市民への普及啓発を行うため、在宅療養の基礎的な内容を紹介したリーフレット「在宅療養のすすめ」を配布しています。

さらに、将来の在宅医療やケアの選択について考える機会として、人生会議の普及啓発を地域包括支援センター等と連携して行いました。すこやかテラス（老人福祉センター）での企画講座や介護予防教室、「65歳からの羅針盤」なども活用して、人生会議の普及啓発に努めています。また、在宅における救急搬送など緊急時への備えとして、駆け付けた救急隊員と本人の円滑な医療情報等の連携に資する救急医療情報キットの配布を、民生委員児童委員の協力のもと進めています。

.....(計画書 55 ページ)

### 3 災害対策・感染症対策の取組強化

災害や感染症への備えについて、医療・介護の関係団体、地域包括支援センター等から現状把握や課題の共有に努め、研修会等の機会を活用して災害や感染症への対応力強化に努めています。

また、介護サービス事業者等に対しては、災害や感染症が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築するため、集団指導等を通じて、業務継続に向けた計画等の策定のほか、保健所と連携しながら感染症の発生及びまん延等に関する取組の徹底等を求め、災害や感染症への対応力の強化に努めました。なお、新型コロナウイルスの類型移行に伴う対応の変更点についても、重点的に周知を行いました。

## VI 高齢者の生活を支える人への支援

.....(計画書 56 ページ)

### 1 生活支援の基盤整備と地域づくりの推進

#### (1)生活支援コーディネーターによる基盤整備の推進

高齢化の進展に伴い増大する高齢者の多様な生活支援ニーズに対応していくために、日常生活圏域担当の生活支援コーディネーターが中心となって、地域包括支援センターや高齢者の生活支援に関わる団体、地域住民等と連携して、高齢者の生活を支えるネットワークの充実を図っています。生活支援コーディネーターは地域包括支援センターと協働して、多様なサービスの利用促進と高齢者が活躍する活気ある地域づくりを推進します。

令和6年度上半期は、生活支援コーディネーターと地域包括支援センターがワーキング形式で地域診断と活動計画を協議し、地域づくり活動を行いました。引き続き、地域資源を管理するデータベースを活用してインフォーマルサービスの可視化に努め、「生活のちょっとした困りごとお助けガイド」や「高齢者集いの場ガイド」の情報更新により市民へ情報発信しています。

#### (2)生活支援の担い手の養成

地区福祉委員会や体操実施拠点等で活動的な高齢者に対し、ボランティア活動や生活支援サポーター等の生活支援の担い手活動を紹介し、住民同士の助け合い活動を啓発しました。出前講座等の機会を活用して、介護予防を普及啓発するとともに、住民主体の助け合いの意識醸成を図り、担い手活動による社会参加の効果を発信しました。

地域包括支援センター圏域においても、生活支援の担い手不足の課題に対して、地域住民が集うイベントを開催する等、潜在的な担い手の発掘を試みる取組を実施しました。

生活支援サポーターについては、交流会を開催し、引き続き生活支援サポーター登録者が意欲的に活動できる体制の構築に努めました。また、生活支援サポーターの養成については、令和6年度下半期に、緩和した基準による訪問型・通所型サービスの担い手養成と一体的に行う予定です。

#### (3)地域資源の充実に向けた取組

生活支援の担い手や地域包括支援センター、多様なサービスを提供する団体と連携して地域資源に関する情報を収集し、即時に共有するためにデータベースで一元管理をしています。地域包括支援センターとのワーキングでは、データベースを使って資源や地域課題を可視化するなど、地域資源の充実に向けた検討を行いました。

また、協議体(高齢者生活支援ネットワーク協議会)では、「通いの場」の存続をテーマに、令和6年度下半期に課題分析を行う予定です。引き続き、地域の強みを確認し、地域活動の動機付けを図るとともに、具体的な取組を検討しながら地域づくりを推進します。

## 2 要介護者と介護に取り組む家族等への支援

### (1)制度周知等の推進

サービスガイドの作成、配布に加え、広報たかつきや市のホームページなど様々な広報媒体を活用し、次のとおり様々な周知を行いました。

- ① 介護保険制度を中心とした高齢者向けサービス等について掲載したパンフレットを作成し、各サービス事業者や市関係施設窓口等で配布
- ② 地域包括支援センター及び市関連施設等の窓口での閲覧用として、パンフレットの点字版の作成
- ③ 市内の介護保険施設や入居系事業所等について掲載したパンフレットを作成し、市窓口や地域包括支援センターで配布
- ④ 広報誌での特集記事掲載
- ⑤ 市ホームページの活用
- ⑥ 職員出前講座を4回（延べ人数61人）実施
- ⑦ 制度の理念をふまえた上手なサービスの使い方に関するチラシを作成、配布

### (2)相談支援体制の充実

苦情・相談解決の窓口として、市窓口のほか地域包括支援センターや各サービス事業者に相談窓口が設けられています。市で対応困難な苦情等については、大阪府国民健康保険団体連合会（以下、「国保連合会」という。）の介護サービス苦情処理委員も対応しています。

令和6年度上半期の市窓口での苦情・相談の内容として、制度・サービス等に関するものが12件となっています。地域包括支援センターでの主な相談内容は、介護保険サービス等に関するものが全体の半数以上を占めています。

また、介護サービス相談員派遣事業については、利用者と事業者の橋渡しを行うことで、事業者の質の向上と利用者の疑問や不安の解消及び苦情の未然防止に向けた取組を行っています。

#### 苦情・相談件数

(単位：件数)

	令和6年度 上半期実績	令和5年度
制度・サービス等	12	41

## 介護サービス相談員派遣事業状況

### 訪問活動実績

(単位：延べ訪問回数)

	居宅・地域密着型サービス事業所								入所施設				合計
	通所 介護(認 知症)	通所 リハ	短期 入所 生活	短期 入所 療養	特定 施設	グループ ホーム	小規 模多 機能	計	特養 (小規 模)	老健	療養型	計	
令和6年度 上半期実績	20	3	11	0	17	29	3	83	41	9	0	50	133
令和5年度 実績	34	4	20	6	27	42	1	134	62	8	0	70	204

### (3)介護に取り組む家族等への支援

在宅にて重度の介護を要する高齢者を介護している家族等に対し、紙おむつ等の介護用品を支給しました。

また、介護者家族等の相談に地域包括支援センター等が応じ、在宅介護の知識や技術等を習得する機会や介護者同士の交流機会を主催する団体等の支援を行いました。

施策の名称	令和6年度	令和5年度
	上半期実績	実績
家族介護用品支給事業	99人	102人

.....(計画書 58 ページ)

## 3 福祉・介護人材の確保及び定着支援

高槻市介護保険事業者協議会と連携し、介護の仕事の魅力を啓発、次世代への啓発体制整備、多様な人材の確保・育成等に向けた取組を進めています。

令和6年度上半期は、大阪府との取組として、高齢者の生きがいづくり・介護予防と介護施設の人材確保を目的に、介護補助業務等の3ヶ月の短期就労へマッチングする、「健康・生きがい就労トライアル事業」を昨年度に引き続き実施しました。また、昨年度に当該事業へ参加して就労継続している状況を広報誌の特集記事として掲載し、介護の仕事の魅力を発信しました。また、介護人材の定着支援を目的とした研修会については、令和6年度下半期に予定しています。

## Ⅶ 介護サービス等の充実・強化

.....(計画書 60 ページ)

### 1 介護保険制度の適正・円滑な運営

#### (1)介護サービスの充実

ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者等の今後の増加を踏まえた新たなサービスの基盤整備に取り組みました。

また、介護保険の運営状況については、広報誌や介護保険料納入通知書に同封するパンフレット等により周知を図りました。

#### (2)介護サービス事業者との連携

介護サービス事業者主体で運営されている高槻市介護保険事業者協議会と連携を図り、情報提供・連絡調整等を必要に応じて行いました。

#### (3)介護支援専門員(ケアマネジャー)への支援

地域包括支援センターの主任介護支援専門員による地域のケアマネジャーへの相談・支援の体制を継続して実施し、研修会等を活用する等ケアマネジャーが幅広い視野を持った適切なケアマネジメントが実施できるよう支援を行いました。

.....(計画書 61 ページ)

### 2 適切な要介護等認定の実施

要介護等認定調査については、申請者の心身状況によっては、調査時に自分から日頃の生活状況などを伝えることが困難な場合があることを考慮し、日頃の生活状況などを説明できる方の同席について、申請書欄に記載欄を設けることで周知を図っています。

要介護等認定更新・区分変更申請に係る認定調査については、指定居宅介護支援事業者等に委託していますが、適正化の観点から一部を市職員が実施しています。

また、公平・公正で適切な要介護等認定を実施するため、令和6年度下半期に認定調査員を対象とした研修を実施する予定です。

#### <認定調査員向け>

日時	テーマ	対象者
令和7年3月 (予定)	認定調査員研修 「誤りやすい調査項目の選択についての 考え方」	市職員及び次年度 調査委託予定事業 所の認定調査員

### 3 サービス事業者への指導・助言

#### (1)事業者への指導・助言

サービス事業者への指導・助言について、次のとおり実施しました。

##### <集団指導>

居宅サービス事業者等を対象とした集団指導について、感染症拡大防止及び事業者の移動時間等の負担軽減の観点から、指導に係る動画を配信、資料をホームページに掲載し、各事業者に報告書の提出を求めました。

##### <運営指導>

令和6年度上半期実績は42事業（介護予防含む）となりました。

#### (2)個人情報の適切な利用

集団指導を通じて、個人情報の適切な利用について周知を行いました。

### 4 介護給付適正化の取組の推進

#### ① 「要介護等認定の適正化」

認定訪問調査については、調査内容が全国一律の基準に基づき行われているか、基本調査、特記事項に矛盾はないか等について、全件点検を行っています。必要に応じて、認定調査員に個別に指導を行っています。

#### ② 「ケアプランの点検」・「住宅改修の点検」・「福祉用具購入・貸与調査」

ケアプランの点検については、居宅介護支援事業者及び介護予防支援事業者に対して居宅サービス計画書、介護予防サービス・支援計画書の提出を求め、記載内容について点検を行っています。点検対象は、認定有効期間の満了が近いもの、または居宅サービス計画書の短期目標期間の終了が近いものとする事で、点検後のケアプランについての改善状況が市、事業者共に把握できるよう努めています。また点検においては、介護支援専門員等の気づきを促すことを目的とし、事業者との対話方式を取ることで、より自立支援に向けたケアプランに繋がることを目指しています。令和6年度上半期は、書面による点検を10事業所21件実施しました。

住宅改修の点検については、事前申請において、住宅改修が保険給付として適正なものかどうかについて、提出書類によりその必要性や工事の内容、金額の妥当性等を確認し、住宅改修完成後において、住宅改修が適正に行われているか、書類や写真で確認するとともに、必要に応じて現地調査を行います。令和6年度については下半期に実施予定です。

福祉用具の購入・貸与調査については、購入された福祉用具や貸与の福祉用具が適切なアセスメントによる利用者の自立支援となっているか検証を行います。令和6年度については下半期に実施予定です。

### ③ 「医療情報との突合」・「縦覧点検」

医療情報との突合については、国保連合会から提供される医療給付情報突合独自絞込みリストをもとに、介護給付と医療給付との整合性等を確認し、不適切な請求を改めることで適正な給付の確保を図っています。また、縦覧点検については、国保連合会から提供される一覧表をもとに、毎月のサービス内容及び事業所間の整合性を確認し、不適切と思われる給付及び請求などの確認を行い、適正な給付の確保に努めています。令和6年度については下半期に実施予定です。

1 被保険者数及び要介護等認定者数

① 認定申請者数

令和5年度と令和6年度上半期の認定申請者数を比較しますと、新規申請者数と区分変更申請者数については増加傾向にあります。更新申請者数については、新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱いによる有効期間延長の終了により、増加傾向にあります。

	令和6年度		令和5年度	
	上半期合計	月平均	年間合計	月平均
総数	9,508	1,585	15,928	1,327
新規	3,610	602	6,814	568
更新	4,923	821	7,206	600
区分変更	975	163	1,908	159

※表中の新規には、転入分は含まれていません

② 認定結果

令和5年度と令和6年度上半期の要支援・要介護状態区分別の出現率を比較しますと、軽度者は2.5ポイント増加し、重度者は2.1ポイント減少しています。

		令和6年度			令和5年度		
		月平均	上半期合計	非該当・軽度者・重度者の各合計	月平均	年間合計	非該当・軽度者・重度者の各合計
	非該当	26	155	155 (1.7%)	26	310	310 (2.1%)
軽度者	要支援	1	339	2,034	275	3,304	7,925 (52.6%)
		2	215				
重度者	要介護	1	290	3,971 (43.2%)	226	2,716	6,827 (45.3%)
		2	186		149	1,793	
		3	160		131	1,571	
		4	171		155	1,854	
	5	144	866	134	1,609		
	合計	1,531	9,188	9,188	1,255	15,062	15,062

※認定結果には、却下（認定対象とならない申請）は含まれません

※非該当・軽度者・重度者の各合計の割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、割合の合計が100%にならない場合があります

### ③ 被保険者数及び認定者数

令和6年9月末時点において、第1号被保険者数は101,477人、要介護等認定者数は、21,452人、対計画値103.3%となっています。

第1号被保険者における要介護等認定出現率は、20.8%となっています。

要支援・要介護状態区分別構成比においては、軽度の要介護等認定者（要支援1、要支援2、要介護1）の割合が56.3%となっています。

(単位：人)

	令和6年度				令和5年度			
	計画値	9月末		対計画値	構成比	計画値	3月末	
								対計画値
総人口		346,021				346,189		
第1号被保険者	102,115	101,477			103,049	101,647		
要支援1	4,964	5,081	102.4%	23.7%	4,801	5,126	106.8%	24.2%
第1号		5,023				5,070		
第2号		58				56		
要支援2	2,900	3,277	113.0%	15.3%	3,082	3,013	97.8%	14.2%
第1号		3,207				2,948		
第2号		70				65		
要介護1	3,858	3,724	96.5%	17.4%	4,138	3,912	94.5%	18.5%
第1号		3,683				3,858		
第2号		41				54		
要介護2	2,534	2,760	108.9%	12.9%	2,629	2,593	98.6%	12.3%
第1号		2,704				2,534		
第2号		56				59		
要介護3	2,417	2,434	100.7%	11.3%	2,162	2,337	108.1%	11.0%
第1号		2,385				2,294		
第2号		49				43		
要介護4	2,316	2,367	102.2%	11.0%	2,079	2,330	112.1%	11.0%
第1号		2,328				2,289		
第2号		39				41		
要介護5	1,774	1,809	102.0%	8.4%	1,632	1,842	112.9%	8.7%
第1号		1,761				1,791		
第2号		48				51		
合計	20,763	21,452	103.3%	100%	20,523	21,153	103.1%	100%
第1号		21,091				20,784		
第2号		361				369		
第1号被保険者における 要介護等認定出現率 (認定者数/被保険者数)			20.8%				20.4%	

#### ④ 介護サービス受給者の状況

令和6年9月末の要介護等認定者21,452人のうち、居宅サービス受給者は13,362人(62.3%)、地域密着型サービス受給者は2,529人(11.8%)、施設サービス受給者は1,920人(9.0%)となっています。令和5年度末と比較しますと、それぞれの利用率は同水準で推移しています。

(単位：人)

	令和6年度 9月末	令和5年度 3月末
要介護等認定者数	21,452	21,153
居宅サービス受給者数	13,362 (62.3%)	13,051 (61.7%)
地域密着型サービス受給者数	2,529 (11.8%)	2,488 (11.8%)
施設サービス受給者数	1,920 (9.0%)	1,849 (8.7%)

※上記の値は介護保険事業状況報告月報より算出

※ ( ) は利用率=各サービス受給者数/要介護等認定者数

#### ⑤ 要支援・要介護状態区分別居宅サービス利用割合

要支援・要介護状態区分別区分支給限度基準額に対する居宅サービス利用割合は、令和6年度上半期の平均は54.2%で、令和5年度平均の52.7%と比較しますと、1.5ポイントの増加となっています。

要支援・要介護状態区分別に見ますと、概ね要支援・要介護状態区分が高くなるにしたがいサービス利用割合が高くなる傾向となっています。

	区分支給限度 基準額(単位/月)	令和6年度 上半期	令和5年度 年間平均
要支援1	5,032	26.2%	25.7%
要支援2	10,531	22.1%	21.1%
要介護1	16,765	43.0%	42.3%
要介護2	19,705	53.4%	52.5%
要介護3	27,048	60.3%	58.6%
要介護4	30,938	67.5%	67.1%
要介護5	36,217	76.4%	72.1%
合計		54.2%	52.7%

※利用割合は、区分支給限度基準額の対象サービス(介護予防・生活支援サービス事業を除く)の合計額から算出しています。



サービスの種類		単位	令和6年度			令和5年度			
			計画値	上半期合計	年間 対計画値	計画値	年間合計	年間 対計画値	
訪問介護	回/年	2,134,746	1,074,887	50.4%	1,736,845	1,950,446	112.3%		
	利用者数(人/年)	47,184	21,944	46.5%	43,164	42,230	97.8%		
訪問入浴	回/年	13,806	6,910	50.1%	10,122	12,730	125.8%		
	利用者数(人/年)	2,928	1,380	47.1%	1,872	2,669	142.6%		
訪問看護	回/年	292,238	132,815	45.4%	218,723	261,205	119.4%		
	利用者数(人/年)	33,780	15,235	45.1%	24,132	29,970	124.2%		
訪問リハ	回/年	34,765	18,415	53.0%	28,594	31,831	111.3%		
	利用者数(人/年)	3,108	1,397	44.9%	2,376	2,681	112.8%		
居宅療養管理指導		利用者数(人/年)	53,604	25,345	47.3%	39,948	47,997	120.1%	
居宅サービス	通所介護	回/年	321,398	150,866	46.9%	330,415	291,551	88.2%	
		利用者数(人/年)	35,568	16,150	45.4%	33,144	31,685	95.6%	
	通所リハ	回/年	114,840	57,945	50.5%	117,124	110,976	94.8%	
		利用者数(人/年)	14,436	6,473	44.8%	13,152	12,872	97.9%	
短期入所サービス	短期生活	日/年	64,848	23,435	36.1%	64,370	49,871	77.5%	
		利用者数(人/年)	7,560	3,154	41.7%	7,668	6,366	83.0%	
	短期療養	日/年	24,284	11,055	45.5%	28,399	23,788	83.8%	
		利用者数(人/年)	2,904	1,454	50.1%	3,420	2,928	85.6%	
特定施設入居者生活介護		利用者数(人/年)	9,300	3,948	42.5%	8,376	8,390	100.2%	
福祉用具貸与		利用者数(人/年)	76,032	35,233	46.3%	61,056	68,642	112.4%	
福祉用具購入		利用者数(人/年)	948	616	65.0%	1,788	976	54.6%	
住宅改修		利用者数(人/年)	912	483	53.0%	1,500	906	60.4%	
居宅介護支援		利用者数(人/年)	104,748	47,890	45.7%	87,012	93,089	107.0%	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		利用者数(人/年)	312	169	54.2%	384	307	79.9%
	夜間対応型訪問介護		利用者数(人/年)	72	6	8.3%	96	19	19.8%
	認知症対応型通所介護	回/年	19,712	9,300	47.2%	22,432	18,331	81.7%	
		利用者数(人/年)	2,196	969	44.1%	2,244	1,971	87.8%	
	小規模多機能型居宅介護		利用者数(人/年)	1,548	734	47.4%	1,776	1,507	84.9%
	認知症対応型共同生活介護		利用者数(人/年)	7,620	3,235	42.5%	7,056	6,375	90.3%
	地域密着型特定施設入居者生活介護		利用者数(人/年)	852	420	49.3%	1,164	702	60.3%
	地域密着型特養		利用者数(人/年)	3,396	1,494	44.0%	3,456	2,937	85.0%
	看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)		利用者数(人/年)	540	230	42.6%	600	494	82.3%
	地域密着型通所介護	回/年	155,302	72,366	46.6%	153,328	141,120	92.0%	
利用者数(人/年)		17,280	8,007	46.3%	16,140	15,640	96.9%		
施設	介護老人福祉施設(特養)		利用者数(人/年)	14,724	7,165	48.7%	13,740	13,811	100.5%
	介護老人保健施設(老健)		利用者数(人/年)	9,144	4,135	45.2%	8,760	8,639	98.6%
	介護医療院		利用者数(人/年)	204	49	24.0%	588	125	21.3%

介護サービス種類別利用状況（介護予防）

サービスの種類		単位	令和6年度			令和5年度			
			計画値	上半期合計	年間対計画値	計画値	年間合計	年間対計画値	
介護予防訪問入浴	回/年		56	11	19.6%	170	27	15.9%	
	利用者数（人/年）		24	6	25.0%	48	8	16.7%	
介護予防訪問看護	回/年		42,295	21,638	51.2%	52,265	40,091	76.7%	
	利用者数（人/年）		6,936	3,318	47.8%	6,948	6,251	90.0%	
介護予防訪問リハ	回/年		11,418	5,358	46.9%	13,193	10,085	76.4%	
	利用者数（人/年）		1,068	434	40.6%	1,212	1,005	82.9%	
介護予防居宅療養管理指導		利用者数（人/年）	5,232	2,700	51.6%	4,824	4,733	98.1%	
介護予防通所サービス	介護予防通所介護	利用者数（人/年）	-	0	-	-	0	-	
	介護予防通所リハ	利用者数（人/年）	8,688	4,226	48.6%	7,428	7,707	103.8%	
介護予防短期入所サービス	介護予防短期生活	日/年	937	636	67.9%	3,827	1,276	33.3%	
		利用者数（人/年）	240	144	60.0%	720	275	38.2%	
	介護予防短期療養	日/年	224	80	35.7%	743	169	22.7%	
		利用者数（人/年）	48	22	45.8%	216	46	21.3%	
介護予防特定施設入居者生活介護		利用者数（人/年）	1,980	892	45.1%	2,016	1,714	85.0%	
介護予防福祉用具貸与		利用者数（人/年）	38,532	17,999	46.7%	41,868	34,316	82.0%	
介護予防福祉用具購入		利用者数（人/年）	792	508	64.1%	1,332	677	50.8%	
介護予防住宅改修		利用者数（人/年）	1,344	518	38.5%	1,500	1,036	69.1%	
介護予防支援		利用者数（人/年）	47,244	21,938	46.4%	43,416	41,967	96.7%	
地域密着型介護予防サービス	介護予防認知症対応型通所介護	回/年	76	94	123.7%	332	208	62.7%	
		利用者数（人/年）	24	18	75.0%	48	47	97.9%	
	介護予防小規模多機能型居宅介護		利用者数（人/年）	156	74	47.4%	240	126	52.5%
	介護予防認知症対応型共同生活介護		利用者数（人/年）	36	4	11.1%	216	14	6.5%

介護予防・生活支援サービス種類別利用状況（地域支援事業）

サービスの種類	単位	令和6年度			令和5年度			
		計画値	上半期合計	年間 対計画値	計画値	年間合計	年間 対計画値	
訪問	介護予防訪問サービス	利用者数（人/年）	26,787	10,532	39.3%	52,224	21,379	40.9%
	生活援助訪問サービス （市内）	（回/年）	1,465	297	20.3%	1,331	633	47.6%
通所	介護予防通所サービス	利用者数（人/年）	34,187	14,860	43.5%	54,372	29,038	53.4%
	短時間通所サービス （市内）	（回/年）	224	0	0.0%	787	105	13.3%
介護予防 ケアマネジメント		利用者数（人/年）	27,767	11,474	41.3%	33,880	23,127	68.3%

## ②介護基盤の整備

### <広域型施設>

施設種別	令和5年度 (定員)	令和6年度 整備内容	令和6年度 整備後 (定員)
介護老人福祉施設	15 か所 (1,270 人)	8 人(増床分)	15 か所 (1,278 人)
介護老人保健施設	8 か所 (742 人)	計画なし	8 か所 (742 人)
介護医療院	0 か所	計画なし	0 か所
特定施設入居者生活介護			
養護老人ホーム	1 か所 (10 人)	計画なし	1 か所 (10 人)
軽費老人ホーム (ケアハウス)	2 か所 (90 人)	計画なし	2 か所 (90 人)
有料老人ホーム	7 か所 (485 人)	計画なし	7 か所 (485 人)
サービス付き 高齢者向け住宅	2 か所 (143 人)	4 人(増床分)	2 か所 (147 人)

### <地域密着型サービス>

施設種別	令和5年度 (定員)	令和6年度 整備内容	令和6年度 整備後 (定員)
小規模多機能型居宅介護	10 か所 (254 人)	計画なし	10 か所 (254 人)
看護小規模多機能型居宅介護	3 か所 (83 人)	計画なし	3 か所 (83 人)
認知症対応型共同生活介護	37 か所 (571 人)	北圏域：増床分(1 人) 東圏域：1 か所(18 人) 南圏域：1 か所(18 人) 西圏域：1 か所(18 人)	40 か所 (626 人)
地域密着型特定施設 入居者生活介護	4 か所 (89 人)	計画なし	4 か所 (89 人)
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	9 か所 (261 人)	南圏域：1 か所(29 人) 西圏域：1 か所(29 人)	11 か所 (319 人)

大阪府の調査基準に基づく、特別養護老人ホームの入所申込者数は、令和6年3月末時点で195人となっています。次回の調査は、大阪府の調査期間にあわせて令和7年度に実施予定。

### ③介護サービス基盤の状況

	社会福祉法人 年度末	医療法人 年度末	営利法人 年度末	NPO法人 年度末	その他法人 年度末	計 年度末
居宅・地域密着型・施設・総合事業サービス合計	25法人	24法人	160法人	13法人	7法人	229法人
	223	171	491	48	9	942
居宅・予防サービス	178	150	351	31	7	717
居宅介護支援事業所	13	18	39	6	3	79
介護予防支援事業所	6	6	0	0	0	12
居宅介護サービス提供事業所	45	54	175	13	2	289
訪問介護	13	5	71	6	1	96
訪問入浴	0	0	2	0	0	2
訪問看護	3	15	36	2	0	56
訪問リハビリ	0	3	0	0	0	3
通所介護	11	2	28	5	0	46
通所リハビリ	0	19	0	0	1	20
短期入所生活介護	13	0	0	0	0	13
短期入所療養介護	0	9	0	0	0	9
福祉用具貸与	1	0	15	0	0	16
福祉用具販売	1	0	15	0	0	16
特定施設入居者生活介護	3	1	8	0	0	12
介護予防サービス提供事業所	21	47	76	2	2	148
予防訪問介護	0	0	0	0	0	0
予防訪問入浴	0	0	2	0	0	2
予防訪問看護	3	15	36	2	0	56
予防訪問リハビリ	0	3	0	0	0	3
予防通所介護	0	0	0	0	0	0
予防通所リハビリ	0	19	0	0	2	21
予防短期入所生活介護	13	0	0	0	0	13
予防短期入所療養介護	0	9	0	0	0	9
予防福祉用具貸与	1	0	15	0	0	16
予防福祉用具販売	1	0	15	0	0	16
予防特定施設入居者生活介護	3	1	8	0	0	12
地域密着型サービス提供事業所	57	16	52	8	0	133
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0	0	0	0	1
夜間対応型訪問介護	0	0	1	0	0	1
地域密着型通所介護	3	6	42	6	0	57
認知症対応型通所介護	8	0	1	0	0	9
小規模多機能型居宅介護	6	2	0	0	0	8
認知症対応型共同生活介護	22	7	8	2	0	39
地域密着型特定施設入居者生活介護	3	1	0	0	0	4
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	11	0	0	0	0	11
看護小規模多機能型居宅介護	3	0	0	0	0	3
地域密着型介護予防サービス提供事業所	36	9	9	2	0	56
介護予防認知症対応型共同生活介護	22	7	8	2	0	39
介護予防認知症対応型通所介護	8	0	1	0	0	9
介護予防小規模多機能型居宅介護	6	2	0	0	0	8
施設サービス	15	8	0	0	0	23
指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	15	0	0	0	0	15
介護老人保健施設（老人保健施設）	0	8	0	0	0	8
指定介護療養型医療施設（療養型病床等）	0	0	0	0	0	0
介護医療院	0	0	0	0	0	0
総合事業	30	13	140	17	2	202
介護予防訪問サービス	13	5	67	6	1	92
生活援助訪問サービス	1	0	10	0	1	12
介護予防通所サービス	14	8	63	10	0	95
短時間通所サービス	2	0	0	1	0	3

### 3 サービス種類ごとの給付費の見込み

#### ① 保険給付等の推移

保険給付費につきましては、一月平均の給付費は令和 5 年度末と比較すると 4.8%増となっています。計画値と比較すると 45.9%となっています。

(単位：千円)

	令和6年度				令和5年度			
	計画値	上半期合計	一月平均	対年間計画	計画値	年間合計	一月平均	対年間計画
居宅・地域密着型・施設サービス合計	31,623,141	14,598,255	2,433,042	46.2%	28,274,600	27,912,443	2,326,037	98.7%
居宅（介護予防）サービス	19,169,112	8,824,055	1,470,676	46.0%	16,440,789	16,849,377	1,404,115	102.5%
訪問サービス	8,607,991	4,093,896	682,316	47.6%	6,771,350	7,595,562	632,964	112.2%
通所サービス	3,928,581	1,818,798	303,133	46.3%	3,900,311	3,490,277	290,856	89.5%
短期入所サービス	951,701	365,046	60,841	38.4%	932,129	756,960	63,080	81.2%
特定施設入居者生活介護	2,091,653	905,461	150,910	43.3%	1,831,970	1,847,320	153,943	100.8%
福祉用具・住宅改修サービス	1,550,777	726,854	121,142	46.9%	1,383,465	1,386,436	115,536	100.2%
居宅介護（介護予防）支援	2,038,409	914,000	152,333	44.8%	1,621,564	1,772,823	147,735	109.3%
地域密着型（介護予防）サービス	5,382,334	2,363,425	393,904	43.9%	5,243,406	4,609,755	384,146	87.9%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	64,896	29,588	4,931	45.6%	56,435	55,620	4,635	98.6%
夜間対応型訪問介護	2,809	1,788	298	63.7%	3,019	2,449	204	81.1%
認知症対応型通所介護	214,443	100,432	16,739	46.8%	242,413	194,506	16,209	80.2%
小規模多機能型居宅介護	343,952	168,112	28,019	48.9%	371,675	329,848	27,487	88.7%
認知症対応型共同生活介護	2,108,401	899,427	149,904	42.7%	1,908,514	1,721,905	143,492	90.2%
地域密着型特定施設入居者生活介護	181,582	82,473	13,746	45.4%	248,647	146,729	12,227	59.0%
地域密着型介護老人福祉施設	1,023,286	431,594	71,932	42.2%	1,021,048	869,114	72,426	85.1%
看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	144,301	61,141	10,190	42.4%	154,576	131,305	10,942	84.9%
地域密着型通所介護	1,298,664	588,869	98,145	45.3%	1,237,079	1,158,279	96,523	93.6%
施設サービス	7,071,695	3,410,775	568,463	48.2%	6,590,405	6,453,310	537,776	97.9%
介護老人福祉施設（特養）	4,140,651	2,046,099	341,016	49.4%	3,696,979	3,786,899	315,575	102.4%
介護老人保健施設（老健）	2,847,183	1,344,846	224,141	47.2%	2,671,951	2,609,424	217,452	97.7%
介護医療院	83,861	19,830	3,305	23.6%	191,560	51,102	4,259	26.7%
高額介護サービス費等給付額	1,164,702	535,918	89,320	46.0%	748,055	960,351	80,029	128.4%
高額介護（介護予防）サービス費	1,015,430	451,821	75,304	44.5%	653,696	838,134	69,844	128.2%
高額医療合算介護（介護予防）サービス費	149,272	84,097	14,016	56.3%	94,359	122,217	10,185	129.5%
特定入所者介護（介護予防）サービス費	588,476	178,250	29,708	30.3%	439,867	363,051	30,254	82.5%
審査支払手数料	33,835	13,806	2,301	40.8%	22,559	25,318	2,110	112.2%
保険給付費等計	33,410,154	15,326,228	2,554,371	45.9%	29,485,081	29,261,162	2,438,430	99.2%

※各費用額は千円未満四捨五入によるため、合計額とは一致しないことがある

地域支援事業費における介護予防・生活支援サービス事業費等につきましては、以下のとおりとなっています。介護予防・生活支援サービス事業は令和6年度の計画値と比較すると42.6%となっています。

(単位：千円)

	令和6年度				令和5年度				
	計画値	上半期合計	一月平均	対年間計画	計画値	年間合計	一月平均	対年間計画	
介護予防・生活支援サービス事業	1,492,411	636,247	106,041	42.6%	2,752,895	1,242,924	103,577	45.1%	
訪問	介護予防訪問サービス	520,973	212,059	35,343	40.7%	973,665	418,614	34,885	43.0%
	生活援助訪問サービス	2,247	700	117	31.1%	14,827	1,555	130	10.5%
通所	介護予防通所サービス	821,892	357,465	59,578	43.5%	1,383,075	703,394	58,616	50.9%
	短時間通所サービス	715	103	17	14.4%	6,950	611	51	8.8%
介護予防ケアマネジメント事業	136,500	56,875	9,479	41.7%	360,075	113,653	9,471	31.6%	
その他（審査支払手数料等）	10,084	9,045	1,508	89.7%	14,303	5,096	425	35.6%	

※各費用額は千円未満四捨五入によるため、合計額とは一致しないことがある

## ② 高齢者一人あたり保険給付費用額

令和5年度と令和6年度上半期を比較すると、高齢者1人あたりの1月あたりの給付額は4.8%増となっています。

		居宅・地域密着型・施設介護サービス給付費 ※介護予防含む			第1号被保険者(月平均)：人	受給者計(月平均)：人				
		居宅	地域密着型	施設		居宅	地域密着	施設		
令和6年度 上半期	給付実績	1,459,825万円 (243,304万円)	882,405万円 (147,068万円)	236,342万円 (39,390万円)	341,078万円 (56,846万円)	101,816	17,722	13,313	2,526	1,884
	高齢者1人あたり	143,400円 (23,900円)	86,700円 (14,500円)	23,200円 (3,900円)	33,500円 (5,600円)					
	受給者1人あたり	823,700円 (137,300円)	662,800円 (110,500円)	935,600円 (155,900円)	1,810,400円 (301,700円)					
令和5年度	給付実績	2,791,245万円 (232,604万円)	1,684,938万円 (140,412万円)	460,976万円 (38,415万円)	645,331万円 (53,778万円)	102,179	17,083	12,770	2,470	1,843
	高齢者1人あたり	273,200円 (22,800円)	164,900円 (13,700円)	45,100円 (3,800円)	63,200円 (5,300円)					
	受給者1人あたり	1,633,900円 (136,200円)	1,319,500円 (110,000円)	1,866,300円 (155,500円)	3,501,500円 (291,800円)					

(注1) 給付実績欄の金額は、1万円未満を四捨五入。

(注2) ( ) は、1月あたりの金額再掲。1人あたりの金額については、100円未満を四捨五入。

(注3) 上記には、高額介護（介護予防）サービス費、高額医療合算介護（介護予防）サービス費、特定入所者介護（介護予防）サービス費及び国保連への審査支払手数料は含まない。

## 4 保険料収納額等

令和6年度上半期現在の賦課額は、令和5年度決算額の9.3%増となっています。また、特別徴収の賦課件数は0.6%減、普通徴収の賦課件数は8.9%減となっています。

令和6年度

所得段階	保険料 (月額)	上半期											
		特別徴収				普通徴収				合計			
		賦課件数	賦課額 (千円)	納付額 (千円)	収納率	賦課件数	賦課額 (千円)	納付額 (千円)	収納率	賦課件数	賦課額 (千円)	納付額 (千円)	収納率
第1段階	20,161 (1,680)	87,704	308,230	154,919	50.3%	29,618	61,998	32,914	53.1%	117,322	370,228	187,834	50.7%
第2段階	26,882 (2,240)	54,729	268,290	132,385	49.3%	3,353	8,049	5,463	67.9%	58,082	276,339	137,848	49.9%
第3段階	43,683 (3,640)	48,643	385,299	187,855	48.8%	2,748	11,437	6,721	58.8%	51,391	396,737	194,576	49.0%
第4段階	57,124 (4,760)	61,826	641,467	303,264	47.3%	13,122	81,088	44,708	55.1%	74,948	722,556	347,972	48.2%
第5段階	67,204 (5,600)	75,425	917,617	435,966	47.5%	1,617	10,681	5,813	54.4%	77,042	928,298	441,779	47.6%
第6段階	77,285 (6,440)	56,340	786,232	369,310	47.0%	8,005	65,053	32,964	50.7%	64,345	851,286	402,274	47.3%
第7段階	77,621 (6,468)	82,814	1,308,952	609,762	46.6%	7,729	70,593	35,080	49.7%	90,543	1,379,545	644,842	46.7%
第8段階	84,005 (7,000)	13,531	230,303	107,165	46.5%	1,946	18,847	9,716	51.6%	15,477	249,151	116,880	46.9%
第9段階	90,726 (7,560)	42,209	771,075	363,650	47.2%	7,382	79,110	45,677	57.7%	49,591	850,184	409,327	48.1%
第10段階	100,806 (8,400)	15,746	326,322	147,812	45.3%	4,039	49,461	30,694	62.1%	19,785	375,783	178,506	47.5%
第11段階	102,151 (8,512)	6,688	155,129	69,013	44.5%	2,831	38,652	24,076	62.3%	9,519	193,781	93,088	48.0%
第12段階	124,328 (10,360)	2,744	70,134	30,720	43.8%	1,250	18,894	11,414	60.4%	3,994	89,028	42,133	47.3%
第13段階	126,344 (10,528)	2,052	57,567	24,235	42.1%	1,066	17,697	10,491	59.3%	3,118	75,264	34,726	46.1%
第14段階	141,129 (11,760)	2,872	83,959	35,100	41.8%	1,628	27,998	18,509	66.1%	4,500	111,957	53,608	47.9%
合計		553,323	6,310,574	2,971,155	47.1%	86,334	559,561	314,239	56.2%	639,657	6,870,136	3,285,394	47.8%

令和5年度

所得段階	保険料 (月額)	年間											
		特別徴収				普通徴収				合計			
		賦課件数	賦課額 (千円)	納付額 (千円)	収納率	賦課件数	賦課額 (千円)	納付額 (千円)	収納率	賦課件数	賦課額 (千円)	納付額 (千円)	収納率
第1段階	20,161 (1,680)	88,052	299,899	299,899	100.0%	31,569	65,055	60,757	93.4%	119,621	364,954	360,656	98.8%
第2段階	26,882 (2,240)	52,891	239,131	239,131	100.0%	3,660	8,655	8,245	95.3%	56,551	247,786	247,376	99.8%
第3段階	43,683 (3,640)	48,909	355,925	355,925	100.0%	2,889	11,588	11,187	96.5%	51,798	367,512	367,112	99.9%
第4段階	57,124 (4,760)	65,843	626,908	626,908	100.0%	13,978	80,498	75,975	94.4%	79,821	707,406	702,884	99.4%
第5段階	67,204 (5,600)	73,633	821,627	821,627	100.0%	1,889	11,882	11,418	96.1%	75,522	833,509	833,044	99.9%
第6段階	77,285 (6,440)	68,562	877,057	877,057	100.0%	9,788	73,731	67,481	91.5%	78,350	950,788	944,538	99.3%
第7段階	77,621 (6,468)	6,765	87,283	87,283	100.0%	546	4,195	3,923	93.5%	7,311	91,478	91,206	99.7%
第8段階	84,005 (7,000)	69,745	972,162	972,162	100.0%	7,889	64,786	60,142	92.8%	77,634	1,036,948	1,032,304	99.6%
第9段階	90,726 (7,560)	12,328	185,769	185,769	100.0%	1,909	16,551	15,288	92.4%	14,237	202,321	201,057	99.4%
第10段階	100,806 (8,400)	38,517	644,911	644,911	100.0%	7,393	73,192	70,154	95.8%	45,910	718,103	715,065	99.6%
第11段階	102,151 (8,512)	16,343	277,646	277,646	100.0%	5,145	51,590	50,436	97.8%	21,488	329,235	328,081	99.6%
第12段階	124,328 (10,360)	5,597	115,377	115,377	100.0%	2,452	30,660	29,837	97.3%	8,049	146,037	145,215	99.4%
第13段階	126,344 (10,528)	4,809	100,561	100,561	100.0%	2,411	30,567	29,984	98.1%	7,220	131,128	130,545	99.6%
第14段階	141,129 (11,760)	4,737	110,218	110,218	100.0%	3,297	46,401	46,128	99.4%	8,034	156,619	156,345	99.8%
合計		556,731	5,714,473	5,714,473	100.0%	94,815	569,351	540,953	95.0%	651,546	6,283,824	6,255,426	99.5%

※賦課額と納付額は、端数処理（千円未満四捨五入）のため、各欄の合計が一致しない場合がある。

(参考資料1)高齢者等の人口

【実績】

(単位：人)

	総人口	65歳以上			
		65～74歳	75歳以上	うち1人暮らし	
令和6年度 (令和6年9月末)	346,021	101,477	38,385	63,092	11,426
	対総人口割合	29.3%			
	対65歳以上割合		37.8%	62.2%	
令和5年度 (令和6年3月末)	346,189	101,647	39,517	62,130	11,214
	対総人口割合	29.4%			
	対65歳以上割合		38.9%	61.1%	
令和4年度 (令和5年3月末)	348,020	102,036	42,370	59,666	11,561
	対総人口割合	29.3%			
	対65歳以上割合		41.5%	58.5%	
令和3年度 (令和4年3月末)	349,109	102,544	45,525	57,019	10,796
	対総人口割合	29.4%			
	対65歳以上割合		44.4%	55.6%	
令和2年度 (令和3年3月末)	350,819	102,734	47,160	55,574	10,265
	対総人口割合	29.3%			
	対65歳以上割合		45.9%	54.1%	
令和元年度 (令和2年3月末)	351,019	102,415	47,584	54,831	9,929
	対総人口割合	29.2%			
	対65歳以上割合		46.5%	53.5%	
平成30年度 (平成31年3月末)	351,741	101,928	48,913	53,015	9,640
	対総人口割合	29.0%			
	対65歳以上割合		48.0%	52.0%	
平成29年度 (平成30年3月末)	352,990	101,181	50,710	50,471	9,175
	対総人口割合	28.7%			
	対65歳以上割合		50.1%	49.9%	
平成28年度 (平成29年3月末)	353,822	100,126	52,016	48,110	8,057
	対総人口割合	28.3%			
	対65歳以上割合		52.0%	48.0%	
平成27年度 (平成28年3月末)	354,771	98,629	53,391	45,238	7,564
	対総人口割合	27.8%			
	対65歳以上割合		54.1%	45.9%	
平成26年度 (平成27年3月末)	355,240	96,226	53,671	42,555	7,162
	対総人口割合	27.1%			
	対65歳以上割合		55.8%	44.2%	
平成25年度 (平成26年3月末)	355,752	93,024	52,454	40,600	6,765
	対総人口割合	26.1%			
	対65歳以上割合		56.4%	43.6%	
平成24年度 (平成25年3月末)	356,329	89,220	50,250	38,970	6,364
	対総人口割合	25.0%			
	対65歳以上割合		56.3%	43.7%	
平成23年度 (平成24年3月末)	357,137	85,247	48,256	36,991	5,914
	対総人口割合	23.9%			
	対65歳以上割合		56.6%	43.4%	
平成22年度 (平成23年3月末)	358,183	82,768	47,758	35,010	5,474
	対総人口割合	23.1%			
	対65歳以上割合		57.7%	42.3%	

【計画値】

令和8年度	345,691	108,874	35,911	72,963	
	対総人口割合	31.5%			
	対65歳以上割合		33.0%	67.0%	
令和7年度	346,325	107,383	36,532	70,851	
	対総人口割合	31.0%			
	対65歳以上割合		34.0%	66.0%	
令和6年度	347,016	105,831	37,845	67,986	
	対総人口割合	30.5%			
	対65歳以上割合		35.8%	64.2%	

(参考資料2)計画の事業実績【第7章関係等】

項番	事業の名称	令和6年度 上半期実績	令和6年度 年間目標値	令和5年度 実績	備考
地域支援事業	1 地域住民、事業者等への介護予防の普及に関する研修会等 開催回数 参加人数	856 回 22,419 人	1,400 回 27,000 人	1,205 回 34,984 人	
	2 「ますます元気体操」「もてもて筋力アップ体操」の実施 実施拠点数 参加人数	282 か所 8,315 人	310 か所 9,000 人	269 か所 8,194 人	
	3 高齢者の健康づくり事業(健幸ポイント) 参加人数 ポイント達成人数	6,177 人 684 人	7,000 人 3,200 人	5,934 人 2,872 人	
	4 生活支援サポーター サポーター登録数 利用人数	228 人 98 人	250 人 140 人	240 人 153 人	
	5 生活支援の担い手の養成(研修の実施)	406 人	440 人	406 人	延べ養成人数 ※令和6年度下半期に実施予定
	6 生活支援コーディネーター 団体支援回数 把握資源数	227 回 533 団体	300 回 450 団体	300 回 418 団体	
	7 協議体(高齢者生活支援ネットワーク協議会)	0 回	3 回	3 回	開催回数 ※令和6年度下半期に実施予定
	8 行方不明高齢者SOSネットワーク	189 か所	200 か所	189 か所	協力機関数
	9 認知症サポーター	30,644 人	31,500 人	30,095 人	延べ養成人数
	10 認知症地域支援推進員による安心声かけ運動	0 回	2 回	1 回	実施回数
	11 見守り安心ネットワークシール	812 人	400 人	770 人	配付人数
介護給付適正化事業	1 ケアプランの点検	21 件	75 件	13 件	点検件数
	2 住宅改修の点検	0 件	120 件	61 件	〃
	3 福祉用具購入・貸与調査	0 件	40 件	21 件	〃
	3 医療情報との突合	0 帳票	2 帳票	2 帳票	点検帳票数
4 縦覧点検	0 帳票	4 帳票	7 帳票	〃	
その他の事業	1 緊急通報装置の設置	1,547 件	1,620 件	1,524 件	設置件数
	2 老人クラブへの活動支援 クラブ数 会員数	152 クラブ 8,887 人	165 クラブ 9,500 人	161 クラブ 9,436 人	
	3 すこやかテラス(老人福祉センター) ①富田すこやかテラス ②郡家すこやかテラス ③春日すこやかテラス ④山手すこやかテラス ⑤芝生すこやかテラス	62,149 人 7,412 人 18,247 人 13,239 人 8,858 人 14,393 人	125,000 人 - 人 - 人 - 人 - 人 - 人	114,445 人 14,483 人 32,064 人 23,058 人 16,557 人 28,283 人	延べ利用人数
	4 高齢者ICT推進事業(スマホ講座)	57 回	80 回	108 回	開催回数
	5 シルバー人材センター 会員数 契約金額	1,123 人 218,975 千円	1,100 人 481,000 千円	1,049 人 432,738 千円	
	6 高齢者地域支えあい事業	2,899 人	3,200 人	3,249 人	対象者数
	7 市民後見人の養成	19 人	20 人	20 人	バンク登録者数

項番	事業の名称	令和6年度 上半期実績	令和5年度 実績	備考	
その他 高齢者 福祉	1	街かどデイハウス介護予防事業		7か所で実施	
		延べ参加人数	6,321 人	12,525 人	
		実施回数	732 回	1,465 回	
	2	配食サービス事業		7事業者で実施	
		食数	55,758 食	102,659 食	
		利用者数	728 人	627 人	
	3	生活管理指導短期宿泊事業		養護老人ホーム2か所で 実施	
		利用日数	178 日	302 日	
		延べ利用者数	13 人	14 人	
	4	介護用品（紙おむつ）の支給	99 人	102 人	
	5	日常生活自立支援事業		社会福祉協議会で実施	
		利用者数	87 人	89 人	
	サービス実施回数	2,720 回	4,686 回		
6	救急医療情報キット配付	10,729 個	10,690 個	配付数	
権利 擁護 関連	1	高齢者虐待防止支援事業	74 件	185 件	相談等の総件数
		警察通報件数	25 件	85 件	
		市・包括等相談件数	49 件	100 件	
		うち虐待と判断した件数	35 件	115 件	
	2	法による緊急措置（法第10条の4）			措置件数
		①特別養護老人ホーム	0 件	0 件	
		②訪問介護	0 件	0 件	
		③通所介護	0 件	0 件	
		④短期入所生活介護	0 件	0 件	
		⑤認知症対応型共同生活介護	0 件	0 件	
3	成年後見制度利用支援	10 件	18 件	市長申立件数	
施設	1	養護老人ホーム入所	32 人	35 人	市内2施設へ措置
		入所者数	4 人	8 人	
		退所者数	7 人	10 人	
	2	軽費老人ホーム（ケアハウス）入所	376 人	362 人	10施設（定員：390人）
		入所者数	80 人	111 人	
	退所者数	66 人	115 人		
市バス・ 敬老	1	老人クラブ日帰り旅行支援	90 件	104 件	
	2	市営バス無料乗車券（ICカード）の交付	63,366 人	62,081 人	申請人数
		市営バス割引乗車券（ICカード）の交付	4,915 人	4,778 人	
	3	敬老祝品	1,446 人	1,431 人	贈呈人数
		①90歳（市長のメッセージカード）	1,445 人	1,430 人	
	②最高齢者	1 人	1 人		

(参考資料3)

介護保険特別会計

(単位：千円)

事業名	令和5年度 決算	令和4年度 決算	増減額	増減率
(歳出)				
総務費関係	546,523	545,840	683	0.1%
保険給付費	29,258,466	27,600,324	1,658,142	6.0%
地域支援事業費	1,390,042	1,792,217	▲ 402,175	▲22.4%
その他	1,205,527	1,319,681	▲ 114,154	▲8.7%
合計	32,400,558	31,258,062	1,142,496	3.7%